

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに次のステップへ向けて取り組む目標を職員一同で話し合いながら作成します。  
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】						
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間	目標達成状況(任意) 平成25年2月27日現在
1	8	利用者が重度化して、ご本人さんの馴染みの人や、馴染みの場所が減っている。グループホームは共同生活の場所だけでも利用者同士が、仲間意識を持って生活するのは難しい。(重度化し一部の利用者しか話が出来ない)	馴染みの人、場所との関係継続の支援が出来る、利用者同士が仲間意識を持ち生活が出来るようにして行きます。	利用者同士が仲間意識を持って生活出来るように、いろいろな事にチャレンジし職員がつなぎ役を工夫して行きます。	6 か月	食事やおやつ時に利用者どうしが声を掛け合うようになった。(もうおりるかな。まだ早いぜ。等)また重度の利用者さんにも声をかけて下さったり、「元気になるよ」と言われるようになった。テレビ見に降りよ等仲間意識を持てるようになった。
2	9	利用者が重度化して、ご本人の思いや、希望、意向の把握が難しくなっている。	24時間シートを用いて利用者がより穏やかに暮らしていけるように思い、希望や意向を把握出来る。	利用者が主体的に暮らせるように、また異常の早期発見に努めるようにアセスメントを重ねて行きます。	6 か月	24時間シートを用いてどのような時に不穏や怒ったりされるのか、ご本人の意向や希望を把握出来るようになって来ている。重度の利用者さんの反応を、しっかり観察し異常の早期発見に努め主治医との連携を深めています。
3					か月	
4					か月	
5					か月	